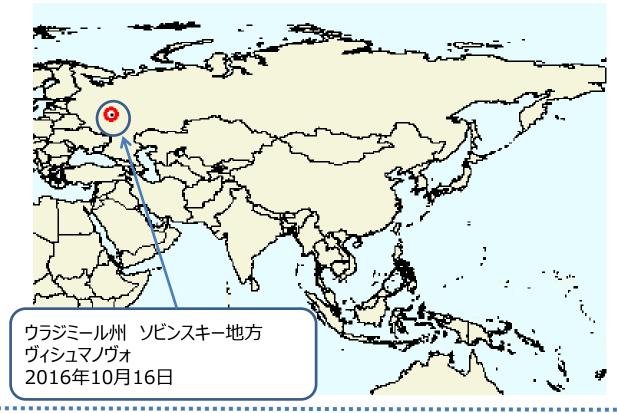
口蹄疫 (Asia-1型) ロシアで発生!

今一度、飼養衛生管理基準を徹底しましょう!

【発生状況】 発生状況場所:ウラジミール州 ソビンスキー地方 ヴィシュマノヴォの農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	814	90	0	814	0
羊/山羊	11	0	0	11	0
豚	54	0	0	54	0

ウラジミール州を含むロシアの一部地域は、口蹄疫の「ワクチン非接種清浄地域」としてOIEによる認定を受けていましたが、本発生を受け、2016年10月20日より本認定は停止されています。



異常を認めた場合は、すぐに家畜保健衛生所へ 連絡してください

0574-25-3111

●閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください つながらない場合は <u>0574-25-3484</u> へ 土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けます

中濃家畜保健衛生所

TEL 0 5 7 4 - 2 5 - 3 1 1 1 FAX 0 5 7 4 - 2 7 - 3 0 9 2

発生予防の徹底をお願いします!

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、農場 内へ不要・不急な者を立ち入らせることのないよう、 関係者以外の立入を制限しましょう。



- 従業員の方も含め、口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控えるとともに、これら国の農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。

効果的な消毒を実施しましょう!

- ◎ 効果的な消毒のポイント
- ・ 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れてしまうことから、まずは汚れを落としてから消毒すること。また、消毒薬が汚れていることに気づいたら、直ちに交換すること。
- ・ 農場に出入りする車両の消毒では、タイヤ のみを消毒するのではなく、泥よけの内側部 分や運転席の足元スペースも可能な限り消毒 すること。

≪要注意≫

- ★ 逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適です!
- ★ 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用 しないこと!

▶疑わしい症状は直ちに通報を!

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**よだれ**を流したり、**ロ、ひづめ、乳房に水ぶくれ**ができるのが主な特徴です。

牛の症状









